

事業所における自己評価結果(公表)

公 表: 2025/6/4 元里死運又 事業所名: ジャンプジャンプ緑ヶ岡

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切か	83.3%	16.7%	0.0%		
	②	職員の配置数は適切か	66.7%	33.7%	0.0%	送迎や記録業務等を効率化し、支援に集中できる体制を意識している。	法定内で職員を配置しているが送迎業務で児童それぞれが親しんでいる職員が不在になる場合がある。児童のニーズに応じた時間帯別の職員配置を再確認し、必要に応じて柔軟な調整を行うことで、常に適切な支援体制を維持していく。
	③	生活空間はわかりやすく構造化された空間になっているか、障がいの特性に応じバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切か	100.0%	0.0%	0.0%		
	④	清潔で心地よく過ごせる環境になっているか、子どもに合わせた環境になっているか	83.3%	16.7%	0.0%		
業務改善	⑤	業務改善を進める為のPDCAサイクルに広く職員が参画しているか [計画→実施→評価→改善→プラン]	100.0%	0.0%	16.7%		
	⑥	保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	⑦	評価表の結果を踏まえ、事業所で自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、会報等で公開しているか	33.3%	66.7%	0.0%	・評価結果を事業所内、ホームページに掲載している。 ・結果を職員に周知するとともに改善策を検討する会議を実施している。	評価結果の公表方法について、まだ十分に伝わっていない可能性がある。今後はHPや掲示だけでなく、会報やお便りなど保護者の目に触れやすい媒体でも周知を図り、事業所の取り組みや改善内容をわかりやすく伝えていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	66.7%	16.7%	16.7%	コンサルタントによる事業所の評価や業務改善などアドバイスをいただいている。	外部からの助言を日々の業務に十分に反映できていない場面もあるため、助言内容を職員間で共有し、実際の支援や運営に落とし込む体制を整えることで、継続的な業務改善につなげていく。
	⑨	職員の資質向上を図るため研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、利用者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	66.7%	33.3%	0.0%	アセスメントツールを使用し、日々の児童の様子や支援記録から客観的なアセスメントを実施している。	現在、アセスメントツールの使用が児童発達支援管理責任者に限られており、職員全体での視点の共有が不十分な場面がある。今後はツールの活用方法を職員にも共有し、日々の支援に活かせるよう全体での理解と連携を深めていく。
	⑪	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	66.7%	33.3%	0.0%	定期的に標準化されたアセスメントツールを用いて、子どもの適応行動の変化や成長を客観的に把握している。	ツールの評価が形式的になりやすく、支援内容との連動が不十分な場面があるため、評価結果を支援計画に的確に反映し、実際の支援場面で活かせるよう職員間での共有と振り返りの機会を定期的に設けていく。
	⑫	支援計画は児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	83.3%	0.0%	16.7%	児童ごとに支援計画に基づいて支援内容を検討しています。児童が継続的に楽しんで活動出来るように内容を工夫しています。	今後もその児童にあった内容をチームで考え、支援にあたっていきます。不適合と思われる内容についてはすぐに内容を再検討していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑯	状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑰	職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑱	支援終了後、職員間で必ず打ち合わせをし、支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	83.3%	16.7%	0.0%		

	①⑨	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	②⑩	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	②⑪	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	②⑫	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関連機関と連携した支援を行っているか	33.3%	50.0%	16.7%	相談支援専門員との定期的な情報共有を行い、児童の支援状況やご家庭のニーズに応じた支援内容の調整を図っている。	関係機関との連携が児童ごとに偏る傾向があり、すべてのケースにおいて十分に情報共有が行き届かない場合がある。今後は相談支援専門員や保護者と連携の必要性を確認しながら、支援計画作成時や変更時に積極的に情報共有を図り、安定した支援体制の構築を目指す。
	②⑬	(医療的ケア・重症心身障害等を支援している場合)保険・医療、障害福祉、保育等の関係機関と連携した支援を行っているか	16.7%	33.3%	50.0%		対象児童なし
	②⑭	(医療的ケア・重症心身障害等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	16.7%	50.0%	33.3%		対象児童なし
	②⑮	移行支援として、保育所、認定こども園、幼稚園等との間で支援内容等の情報共有・相互理解を図っているか	66.7%	33.3%	0.0%	保育所や認定こども園、幼稚園等と、必要に応じて支援内容や児童の特性についての情報共有を行い、円滑な移行に向けた相互理解に努めている。	連携の機会自体が限られており、園ごとに情報共有の状況に差が出る場合がある。今後は移行が想定される時期に合わせて意図的に連携の機会を設け、必要な支援情報を早期に共有できる体制づくりを目指す。
	②⑯	移行支援として小学校や特別支援学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50.0%	50.0%	0.0%	小学校や特別支援学校との間で、必要に応じて児童の特性や支援のポイントについて情報共有を行い、スムーズな移行につなげるよう努めている。保護者を通じて学校側と連絡をとるなど、柔軟な対応を心がけている。	学校側との直接的な連携機会が限られており、情報共有にばらつきが出る場合がある。今後は移行支援のタイミングを明確にし、保護者・学校・事業所間で早期に必要な情報を整理・共有できる仕組みづくりを進めていく。
	②⑰	他の支援センターや支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	66.7%	16.7%	16.7%	各職員が定期的に外部研修に参加し、支援に関する知識や技術の向上に努めている。最近では研修の機会も増えており、他の支援機関からの助言や情報を業務に活かせるよう取り組んでいる。	外部研修で得た知識や学びが個人の中で留まってしまうことがあり、現場全体への共有が不十分な場面も見られる。今後は職員間での情報共有の機会を設け、学んだ内容をチーム全体の実践につなげられるよう工夫していく。
	②⑱	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	16.7%	16.7%	66.7%	現在は保育所や幼稚園等との交流は実施していないが、今後の発達段階やニーズに応じて、地域の子どもたちとの関わりの機会を検討していく。	地域とのつながりや他児との交流の重要性を踏まえ、今後は外部との交流機会の可能性について情報収集を行い、段階的な導入を検討していく。
	②⑲	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	16.7%	33.3%	50.0%	現在は協議会や子育て会議等への参加は限定的だが、地域との連携強化の必要性を踏まえ、今後は積極的に参加していく方向で検討している。	地域の情報共有や支援ネットワークづくりに貢献できるよう、子ども部会や子育て会議等への継続的な参加体制を整え、連携強化を図る。
	③⑩	子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	③⑪	保護者の対応力向上を図るため、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	33.3%	16.7%	33.3%	ペアレントトレーニングのような体系的な支援は実施していないが、保護者からの相談には随時対応し、子育てや関わり方について個別に助言を行っている。	職員が保護者支援に関する知識やスキルを身につけながら、相談対応の質を高め、子育てに寄り添った支援体制の強化を図っていく。
保護者への説明	③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と「支援計画」を示しながら内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	③⑭	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	③⑮	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0.0%	16.7%	83.3%	保護者会実施の予定はございません。	
	③⑯	利用者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備し、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れに迅速かつ適切に対応しているか	66.7%	33.3%	0.0%	相談や申し入れには日頃から丁寧に対応するよう努めており、体制も整えているつもりではあるが、保護者への周知や明確な伝達については今後さらに工夫が必要。	今後は送迎時の声かけや日々のやり取りの中で、相談しやすい雰囲気づくりや職員の姿勢を意識し、安心して声をかけてもらえる関係づくりをさらに大切にしていける。

責任等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者に発信しているか	50.0%	33.3%	16.7%	紙での会報発行は極力行っていないが、ペーパーレスの方針に基づき、お知らせはLINEで、行事予定や出欠管理等は専用アプリを通じて保護者に随時発信している。	配信方法が複数に分かれているため、情報が届いていないと感じられることもある。今後は伝達手段を明確にし、必要な情報が確実に伝わるよう整理・案内の工夫を進めていく。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑩	行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	33.3%	16.7%	50.0%	現時点では町内会への加入にとどまっており、地域住民を招いた行事等を実施していないが、地域とのつながりを意識し、情報共有は行っている。	今後は地域のイベントや活動に積極的に参加し、地域との関係づくりを進めながら、事業所としても地域に開かれた運営を目指していく。
非常時等の対応	④⑪	緊急時・防犯・感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練をおこなっているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑭	食物アレルギーのある子について、医師の指示書に基づく対応がされているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	100.0%	0.0%	0.0%	法改正の内容に従い、事前の承諾をいただいております。必要事案が発生した場合には保護者様に報告し、その理由についても記録を取っております。	

○『はい』が70%を下回る項目について回答しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です